

※ 今週のアウトルック(8/8~8/12)

先週は、金曜日の米国雇用統計が予想をはるかに上回る好結果となり、ドル高、円安が大きく進みました。

米国債も大幅に下落しています。

今週はまず、米国雇用統計からのドル高、円安の流れがどこまで波及するかを見極める必要がありそうです。

先週のドル円は、金曜日の米国雇用統計が予想をはるかに上回る好結果となり一気に135円付近まで上昇しました。

9月のFOMCでの利上げ幅75bpとなる可能性が高まっているようです。

今週はまず、このドル高、円安の流れがどこまで進むのかを見極めたいところです。135円から135.5円付近にあるレジスタンスを超えてきた場合、次のターゲットは137.5円付近となりそうですが、上げ下げを繰り返しながらの荒い動きとなる可能性を考慮しておいたおいた方が良くかもしれません。

140円超えの可能性については、今週は少し難しいかもしれません。

ドル円の予想レンジは133円から139.5円です。

先週のユーロ円は米国雇用統計発表後の円安の流れに乗り、137円台中盤まで上昇してそのまま週末を迎えています。

今週は、ある程度の上昇は期待できるように思いますが、ユーロドルが再び1.0以下を目指す可能性もあるため、140円を超えての円安は難しいかもしれません。

ユーロ円の予想レンジは135円から139.5円です。

ポンド円も163円付近まで上昇して週末を迎えています。

今週は、165円付近あたりまでの上昇を期待したいところですが、ポンドドルが幾分下落傾向にあり、166円中盤のレジスタンスを超えた上昇はあまり期待できないかも知れません。

ポンド円の予想レンジは162円から166.5円です。

米国雇用統計の予想外の好結果を受けて、ドル高、円安トレンド復活を期待したいところですが、CPIの動向なども踏まえ、全般的には荒い動きとなる可能性が高いように思います。

\* 免責事項 \*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。